

グループ	順番	提案団体	公民館区	主な協働・連携団体	事業概要
1	1	「子どもアートDay」 実行委員会		しまねガムラン・たのしい楽団・ 山陰フィル弦楽アンサンブル・ ブラバフット・オルガンピク ニック・みんなのasoviva・親子 リズムサークル・tukuru よし と・おはなしレストラン・島根県 立大学短期大学部保育学科・松 江友の会・ここあん・NPO法人 もりふれ倶楽部・NPO法人お やこ劇場松江センター・NPO法 人松江音楽協会・認定NPO 法 人あしづえ・島根県立美術館・し まね文化振興財団・松江市子育 て政策課・おやこdeカフェ・ラ ボキッチン・生協しまね・松江 NPO ネットワーク	【事業の目的】 ・地域のアーティストや支援団体などの子どもを取り巻く活動がつながり、地域課題の解決に取り組む体制をつくる ・子どもの育ちと子育て課題を地域を挙げて応援していく機運を醸成し、「子どもと文化」を考え、協力できるネットワークを 残す 【事業の内容】 ・県民会館内12会場で、演奏やワークショップなど29種のプログラムを実施 【事業の成果】 参加者、参加団体ともに、文化芸術に触れ、支援者と出会って対話をするこの必要性を実感できた
	2	横浜町内会	白潟	白潟公民館	横浜町の老舗神具店跡を、町内会長が「地域の活性化に使えないか」と、所有者に話をもちかけたことが発端となる。 多くの地域住民や学生も参加した大掛かりな清掃を行い、かつては職人町と言われた横浜町の老舗神具店跡は、地域の交流拠点 として生まれ変わった。学生スタッフ・町内会・子ども会・ギャラリーオーナーの4者で協力して、寺子屋としての活動を実施 している。
	3	天神川沿いを綺麗 にしようの会	朝日	朝日公民館	天神川沿いの草刈りやごみ拾い、木の伐採。各自、草刈り鎌、草刈り機等を持参し、申込み不要・自由参加で活動している。
2	4	あめいろ	東出雲	東出雲公民館、市内高校演劇 部 松江北高放送部、東出雲中 学校ボランティア部、畑ほし柿 生産組合、NPO法人かみいど う、町内各小中学校	【事業の目的】 自分の住む地域を好きだと思う子どもが育ち、地域のためにチャレンジする中高生の活動が活発で、その学生たちをサポート する 人がいる、そういったコーディネート機能を持ち、地域の将来を担う人材が還流する地域を目指す 【事業の内容】 ・東出雲町上意東が干し柿の里となったルーツを題材に、高校生が中心となり取材・脚本・演出を行い、舞台制作に取り組む ・役者、スタッフは市内の高校演劇部が中心となり、地元の小中高生を招待 ・中学校ボランティア部協力のもと来場者アンケートを実施し、事業の効果を検証 【事業の成果】 ・コロナ禍の中、高校生のアイデアでスタートし、地域の大人が関わることで応援する人が増えていった ・東出雲町の干し柿のルーツや作り方、飴色の宝石への理解度は、演劇後大きく上昇した
	5	乃木子ども食堂			食事の提供、体験活動・あそび活動、地域住民など多世代の交流の場として、子どもから大人まで誰でも利用できる居場所づく りを目指す。食の支援を通じて、誰も取り残さない社会を目指し、人や地域とつながる居場所をつくる。
	6	八雲町自治会連合 会	八雲	公民館運営協議会まちづくり 部	八雲の伝統文化を紙芝居で紹介することで、ふるさと再発見につなげ、多くの方々に八雲を訪れていただくとともに、定住化の 一翼を担うことができればとの思いで取り組んでいる。今回は、人間国宝「安部栄四郎」を取り上げ、雁皮紙に魅せられた子ど もたちの思いを紙芝居にしたもの。
3	7	南殿町町内会	城東	動物病院・NPO団体	10haの狭い町内に捨て猫が数十匹生息するようになり、発情期間の騒音や糞尿、死骸処理に困っていたところ、動物愛護法の改 正により、従前の野良猫対応では法に抵触する可能性がでており、法の趣旨に合致した活動とし住民と動物の共存を図った。
	8	みのりの小道			島根大学松江キャンパス内に植栽・自生した植物に触れながら、土いじりや収穫体験を通して、大学職員・学生・地域住民と交 流することを目的としている。年4回程度不定期で実施。
	9	大谷地区森の家 プロジェクト	玉湯	大谷地区自治会組織	【事業の目的】 ・廃校となった小学校を起点として、ホタルの灯りと一緒に竹灯籠の灯りを楽しむことにより、自然環境の保全と、地域の交流 や 活性化を図る 【事業の内容】 ・旧大谷小学校講堂でワークショップを開催し、竹灯籠を作製 ・竹灯籠を日速神社参道から境内に設置し、ホタルの灯りとあわせて鑑賞 【事業の成果】 地元の竹材を活用し、ホタルを守る環境づくりを大切 にしながら、改めて地域の魅力を再発見できた